

ジャズ&アートに染まった2日間
SWING 赤坂 2009 & 赤坂メディアアート展

9月24日(木)25日(金)、赤坂の街とジャズ、そしてアートとのコラボレーションイベント「SWING 赤坂 2009」と「赤坂メディアアート展」が開催されました。

1:アニメーション作家のアトリエ
2:フェイクのコンビニ
3:氷川神社の木の絵
壁に貼った下書きが一面に広がり、作品はその一部を切り抜いた影に。
4:赤坂を切り取った作品
5:廃材から生まれた作品
6:地元の子どもたちが思い思いに着色

芸術の秋
赤坂の秋

メディアアート展は、「赤坂」をテーマに、6人の若手作家がアート作品を制作し、区民センターをメインに街中にもアートがちらびめられた展示となりました。
作品は、日本画や立体造形、アニメーションなどバリエーションにとんだもので、一部の作品は、赤坂の子ども達も制作に参加し、大人には思いつかない斬新な色使いで前衛的なアートになりました。
今年のテーマは「アーティスト・イン・レジデンス」。アーティストが赤坂に「住みながら」制作したので、アトリエ(旧赤坂小学校)が公開され作品ができる様子を見ることができました。
作品ができていく様子も面白いけど、アトリエ自身が作家の個性をはっきり現した「作品」と化していて、見た人が少ないのが惜しい！
一見の価値アリでした。

赤坂警察署からのお知らせ
万引きは犯罪です！

ゲームが一転、強盗事件に
A君は学校帰り、最近友達になった仲間たちとコンビニに寄りました。仲間誘われるまま、ゲーム感覚でガムを一つポケットに入れて外に出ました。ドキドキしましたが、店員には気づかれず、あっさり万引きは成功してしまいました。その後何回か繰り返すうち、最初のドキドキ感や罪悪感もなくなってきました。そんなとき、仲間の一人が「カゴダッシュ」を持ちかけてきたのです。コンビニのかごにジュースや菓子など様々なものを入れて、レジを通さずにそのままバイク等で持ち逃げしてしまう大胆な手口です。かごを持ってまさに店から走って出ようとしたとき、店員に呼び止められました。強引に逃げようとして店員を引きずるかたちとなり、怪我を負わせてしまいました。軽いゲームと思っていた万引きは、それだけでも窃盗罪です。また今回のような場合、強盗致傷罪になります。
●お問い合わせ／赤坂警察署 電話:03-3475-0110

赤坂消防署からのお知らせ
つけましたか？
住宅用火災警報器！

東京都では平成22年4月1日から全ての住宅（共同住宅の住戸を含む。）に住宅用火災警報器の設置が義務化されます。設置場所は全ての居室、台所、階段です。（浴室、トイレ、洗面所、納戸などは含まれません。）警報器には煙を感知する煙式と熱を感知する熱式があります。寝室・階段用には煙式、台所には熱式が適しています。
火災による被害を軽減するために、早めの設置をお願いします。
区から助成金が支給されます！
港区では『住宅用火災警報器』の購入・取り付けにかかった費用を助成しています。平成19年4月1日以降に行ったもので、購入および取り付けにかかった費用の半額を助成します（申請は1住宅1回限りで上限は1万円です）。
●お問い合わせ／協働推進課活動推進係 電話:03-5413-7272
悪質商法にご注意！
消防署の職員などを装って訪問し、「すぐに取り付けしないと、罰金を取られる」などと言って不安をおおる悪質な業者がいます。だまされて、高い品物売りつけられないよう気をつけてください。
お願い
住宅用火災警報器を設置したときは、消防署への連絡をお願いします。個人情報住宅用火災警報器の普及状況の把握以外の目的には使用せず、情報管理を適切に行います。
●連絡・お問い合わせ／赤坂消防署 電話:03-3478-0119

あの人この人 地域のこと

赤坂・青山町会のことを地域で活躍しているひとに聞きました。

赤坂 赤坂見附会
…地域の活性化を願って

赤坂見附会、戦後に今の名称となりましたが、戦前は田町一・二丁目町会という名称で地域の方に親しまれていました。
戦前の町会内は、ほとんどが木造の平屋、二階建て戸数も多く、そこに暮らす方がたくさんいましたが、戦災により一帯が焼野原となっていました。戦後復興により、徐々にまちが再生され、昭和40年代には、町並みが戻りました。
しかしこの頃から、地区内でのビル建設が進み、現在ではほとんどがビル化し、地区内に住む方は4軒となっています。
赤坂見附会では、地域のコミュニティの再生と活性化を願い、氷川神社の祭礼時に、赤坂見附駅近くに神酒所を設置して、地域の賑わいを創出しています。
また本年は、赤坂氷川祭(本祭)の開催に合わせ、当町会の神輿を修復しました。祭当日は他の町会の神輿とともに赤坂のまちに繰出し、赤坂のまちは活気に溢れました。
赤坂見附会 神酒所
赤坂見附会では、以前の「賑わい」を再生することを大きな目標としています。しかしながら町会内は、ほとんど店舗等が占めているため、地域のコミュニティの育成には課題が多い状況です。
祭礼時の神酒所設置をはじめとして、町会内の清掃やパトロールなど、より多くの地域の方が協働した取組を行うことにより、昔の賑わいが戻ることを願っています。次の世代に歴史ある町、賑わいある町を引き継げるよう今後も活動していきます。
赤坂見附会 奥野 實 会長 談

青山 青山一丁目町会
…静かで住みよい町づくり

戦後には、町の中心に師団司令部跡や戦災者住宅が建ち並んでいましたが、昭和50年代後半頃には、子どもの広場や公園等の緑地帯に変わり、住み、暮らし、働き、訪れる人の目を季節の花や木々が、楽しませてくれます。都心としては珍しい遊興場がなく、町の中に大型車の進入もほとんどない、環境的に大変良い町である一方、大型ストア等がなく、日常の買物には若干の不便さを感じます。
当町会においても高齢化が進み、以前に比べると子どもと子どもの数が大きく減少していますが、元気なお年寄りも多く、町会の活動に積極的かつ精力的に参加されている方もいます。
まわりの風景等も大きく変わりましたが、町会のモットーである「静かできれいな住みよい町づくり」に現在も取組むとともに町会行事も盛んに実施しています。
青山一丁目町会では、モットーである「静かできれいな住みよい町づくり」のために定期的に地域の浄化活動を実施しています。具体的には、町内の清掃や放置された自転車等への啓発活動です。
また町会では、子どもの健やかな育ちを願い、子どもわんぱく相撲大会やラジオ体操、子ども神輿をはじめ熊野神社祭礼なども実施しています。
当町会では、多くの方が相互に協力して、さまざまな事業を実施することによって地域のコミュニティの育成を図っています。私は前任の会長に代わり本年4月に会長となりました。今後も歴代の会長が取組まれた「地域の輪作」に引き続き努めます。
青山一丁目町会 三井寺 吉雄 会長 談

赤坂・青山にある大使館・観光局「レント編」

Lesotho

レント王国

●面積 約30,000 km²
●人口 約180万人
●首都 マセル
●言語 英語・ソト語

レント王国大使館
〒107-0052 港区赤坂7-5-47
U&M赤坂ビル3階
電話:03-3584-7455
http://www.lesothotokyo.org

天空の王国

レント王国は、アフリカ南部にある内陸国で、周りすべてを南アフリカに囲まれている特徴的な国です。面積は九州の約7割で、世界で唯一その国土全域が標高1,500mを超えるという国です。アフリカに3カ国しかない王制の一つで、自然にあふれとてもアットホームな人々が暮らしています。

レントの観光名所

レント王国はアフリカで一治安がよい国として知られ、その治安の良さから女性のための観光客も多く訪れています。そんなレントの魅力を紹介します。

①バー「サニバス」
世界で一番高い場所にあるというバーです。地元のビールを飲みながら雄大な景色を見ることが出来ます。

②ギネスブックに登録された「アプザイレ」
マレツィヤネ滝沿いにあるアプザイレ (204m) は世界でもっとも長いアプザイレとしてギネスブックに登録されました。
※アプザイレ: 登山用語で、ザイルを使って岩壁を降りること。

③ポニートレッキング
セモンコンでのポニートレッキングは自然を堪能できます。

④ダム周辺のコテージ
レントにあるダム周辺のコテージでは、夜になれば東京では見られない満天の星空と人工衛星が空いっぱいに広がります。

青山霊園眺望
～人と歴史～

第2回
上野英三郎(うへのひでさぶろう) (1871年～1925年)
第10号1種口号 東三通り

この人の名前からどんな方だったのか、すぐにわかる人は少ないと思います。現在の三重県津市の出身で帝国大学農科大学農学科、さらに大学院に進み、1911(明治44)年、東京帝国大学農科大学教授に就任。わが国の農業土木、農業工学の創始者とも言われ、その活躍の場は大学内にとどまらず、研究のかたわら国内の耕地整理、土地改良事業等を推し進め、教え子は全国に3,000人以上いらしたそうです。
しかし、上野教授にはもう一つの横顔があります。むしろ、そちらの方が世間一般によく知られていることです。それは、あの「忠犬ハチ公」の飼主であったことです。
「ハチ公」といえば渋谷のシンボルであると同時に、待ち合わせ場所としてその場所は全国区ものです。先ごろ、リチャード・ギア主演、ラッセル・ハルストン監督の映画『HACHI 約束の犬』が人気を博しましたが、これは1987(昭和62)年に公開された日本映画『ハチ公物語』を再映画化したものです。
「忠犬ハチ公」のことは、どなたにもよくご存じとは思いますが、ご存じない方のために簡単に紹介します。
1923(大正12)年11月に秋田県大館市に生まれ、2か月後、かねてより秋田犬を飼いたいと思っていた上野教授に飼われることとなりました。ハチという名前は、教授の郷里・三重県に多い犬の名に因んで命名されたようです。上野教授には子どもがなく、ジョンとエスという犬と一緒に飼われましたが、なかでもハチは大変かわいがられ、教授の温情を一身に受けて育ちました。
そして、教授が農事試験場や大学へ通う送り迎えをするようになって10ヶ月後の1925(大正14)年5月21日、教授は突然に駒場の農科大学の教室で倒れ、文字通り帰らぬ人となりました。そんなことは知る由もないハチは教授亡き後も、雨の日も風の日も毎日毎日、渋谷駅前で教授の帰りを待ち続けていたのです。その姿は多くの人々に感銘を与え、「忠犬」と呼ばれるようになりました。そして新聞にも取り上げられ、一躍有名になった「忠犬ハチ公」を讃える銅像が渋谷駅前に作られました。
1935(昭和10)年3月8日、ハチは11歳で亡くなりました。ハチの告別式は渋谷駅で盛大に行われ、青山霊園にある上野教授のお墓に並んで「ハチ公の碑」として分骨埋葬されました。亡骸は剥製にされ、現在、東京上野の科学博物館に展示保管されています。
上野博士のお墓と忠犬ハチ公の碑

「講師派遣先」を募集しています！

赤坂地区総合支所では、平成21年度より、行政情報の新たな発信手段として、『講談』を活用しています。赤坂・青山地域で活動する団体に講師の神田織音さんを無料で派遣し、地域に必要な情報を楽しくわかりやすくお届けし、共有化することで、地域の活性化を促進します。町会や商店会、学校や地域の団体の会合やイベント、勉強会など、様々な場面でご利用いただけますので、是非下記担当までお申ください。行政情報の読み物と併せ、古典講談のご要望もお受けします。事前にDVDの内容をご確認いただくことも可能です。詳しくは担当までお問い合わせください。
担当／協働推進課地区政策係 電話:03-5413-7013

「企業向け地震防災対策講演会」を開催しました

9月10日(木)、赤坂地区総合支所と赤坂・青山会議(赤坂・青山地区内の防災、美化活動を推進する組織)の主催により、「企業向け地震防災対策講演会」が行われました。
～巨大地震が起きる前に企業は何をしておくべきなのか～
赤坂区民センターを会場として、首都大学東京の中林一樹教授と地域安全学会の宮本英治顧問による講演では、企業の防災担当者や防災問題に関心のある住民の皆さんなど62名の参加者が、熱心に耳を傾けていました。
赤坂・青山地区は、大企業や大型商業施設、宿泊施設が集中しており、膨大な昼間人口を有しています。東京湾北部を震源とする大地震に見舞われた際は、ピーク時の帰宅困難者は、赤坂・青山地区では約95,000人となります。
講演では、「帰宅困難者対策を盛り込んだ事業継続計画(BCP)の策定の必要性」が指摘され、「災害図上訓練(DIG)の事例」などの実践的な内容が紹介されました。参加者からは「参加してよかった。」「今後こういう企画を続けてほしい。」との声が寄せられました。

赤坂・青山地域の歴史記録・保存冊子編集委員募集

赤坂・青山地区の「まち」や「人」の歴史について、次世代へ継承するための冊子を作成する編集委員を追加募集します。
■対象 赤坂・青山地域の在住・在勤・在学者で、取材・編集に意欲のある人
■内容 赤坂・青山地区の「まち」や「人」の歴史保存・継承
■活動時間 平日夜間に月1～2回程度(取材は別途)
■募集人員 若干名
■申込方法 郵送・FAX・E-mailのいずれかで、住所・氏名・職業(学校名)・電話番号を記載の上、11月18日(水)までに、赤坂地区総合支所協働推進課地区政策係へ
■お問い合わせ／電話:03-5413-7013 FAX:03-5413-2019
住所:〒107-8516 港区赤坂4-18-13
E-mail minato79@city.minato.tokyo.jp

特集 Walking in Green

赤坂・青山

緑のウォーキングコース



1 青山公園周辺

地下鉄「青山一丁目」駅を青山霊園方面に向かう。左手に青葉公園、その奥に連なる緑は都立青山公園(北地区)。環状3号線沿いのお洒落なカフェやレストランも魅力的。

2 青山2丁目裏通り

青山2丁目の裏通りで見つけた印象的な緑。さすが老舗のウナギ屋です。店の向かいの画廊も、緑に囲まれ、落ち着いたたたずまいを醸し出しています。



青山

緑のまちなみめぐり

流行の先端をいくファッションブルなお店や美術館が立ち並ぶ青山。個性あるデザインの建築をさまざまな緑が彩り、洗練されたまちなみをつくりだしています。そんなおしゃれな青山のまち歩きを楽しんでみましょう。

3 TK南青山ビル公開空地

青山通りから奥に広がるモダンな庭園。横には小さな竹林も。裏通りに抜けられます。



4 青山ザ・タワーの公開空地

青山墓地や運動場、公園と周囲の緑と連続し、緑豊かなまちなみを演出しています。
★平成18年度港区みどりの街づくり賞受賞



第13回 神宮外苑いちよう祭り

若葉・青葉・黄葉・裸木と四季折々に美しい姿を見せるいちようの並木は、11月中旬から12月初旬の黄葉が最も美しく、多くの方が散策に訪れます。いちよう並木の黄葉と共に「いちよう祭り」の季節がやってきました。開催中は、模擬店のほか、各地の特産品や名産品が集まり、訪れる人々に喜ばれています。秋の日のしみて下さい。

■期 日/11月14日(土)～12月13日(日)
■時 間/10:00～16:30
■場 所/神宮外苑いちよう並木・噴水池周辺
■内 容/模擬店や各地の物産品販売
土・日・祝日には大道芸人によるLIVEパフォーマンス
■問合せ/明治神宮外苑総務部 電話:03-3401-0312



5 都営青山北町アパート敷地内

大木が多く、緑が豊富な都営アパート。春には桜が咲き、年中、花や緑にあふれています。



6 みゆき通り (フロムファースト通り)

表参道から南青山へと直進するみゆき通りは、フロムファースト通りとも呼ばれます。様々な建築家達が設計したファッションビルが立ち並ぶなか、青南小学校から毎日元気な子供たちの声が聞こえてきます!

7 岡本太郎記念館周辺

誰もが知っている岡本太郎...その彼が50年近くも住み、そして数多くの作品を生み出した場所でもあります。青山にはレンタルギャラリーをはじめとしたアートスペースがたくさんあるので、ギャラリー巡りもおススメです。



8 根津美術館周辺

みゆき通りの終わりにはおよそ3年かけて改装された根津美術館があり、館を包む竹林やなだらかな傾斜の庭園は季節を問うことなく「和」を感じさせてくれるでしょう。



9 権田原坂

青山一丁目から明治記念館を右に曲がると、権田原坂のトチノキとユリノキの並木道。四谷方面に向かってアップダウンが身体にほどよい刺激を与えてくれます。共済会館のあたりで6時半には寺の鐘の音。迎賓館前では、イグナチオ教会の鐘が7時に鳴り響きます。また、御所の生垣には四季折々可憐な草花が楽しめます。



10 薬研坂

薬研坂再開発で赤坂地区総合支所周辺は4丁目から5丁目にかけて整備され、晴れた日にはランチを食べたり、パソコンで疲れた目を癒す緑の空間にすっかり変貌しました。

11 氷川公園

ふだんは静かな公園ですが、お昼12時を過ぎると一変します。近隣のオフィスビルからの人々がランチをしたり、本を読んだり、寝転んだり、思い思いに過ごしています。



13 檜町公園

ミッドタウンに隣接する広々とした都心の公園です。小さい子どもがかけ回り、犬が散歩する一帯を抜けると、グッと日本風の趣です。都会の喧騒を忘れ去るような、清い雰囲気にも包まれています。



12 赤坂氷川神社周辺

祭りの活気とは対照的に、普段の赤坂氷川神社周辺は、緑にあふれる静謐な空気に覆われています。神社向かいのアメリカ大使館官舎は、かつて三井家の屋敷でしたので、たくさんの緑が残っているのかもしれない。



14 旧乃木邸・乃木神社・乃木公園

赤坂・青山・六本木の三つの街が接する一角にあり、旧乃木邸の庭園から乃木神社、乃木公園につながる緑の空間は、まさに癒しの空間。御神木や古木が茂り、時折聞こえる雅楽の調べが、荘厳ささえも感じさせます。



青山街路樹めぐり ~日々街路樹に感謝して~

青山の街路樹には年輪がある。青山一丁目～権田原・青山斎場前の通り。測定してみる。樹木間約10歩～13歩。幹周リ1.5m～2mもある巨木・高木である。モクレン科のゆりの木と名札があり、管理番号も付けられている。葉巾の大きなプラタナスに似た葉で、ほどよい陽陰(ひかげ)をつくってくれている。青山通りのプラタナス、外苑の銀杏並木、表参道の櫟、みゆき通りのアカシア。CO₂を吸収してくれている。この緑のルートを大切にしたいものだ。



青山一丁目～権田原坂のユリノキ

青山霊園の豊かな緑

赤坂

憩いの緑めぐり

赤坂見附・乃木坂

乃木神社や赤坂氷川神社など、歴史を感じさせる緑と東京ミッドタウン、薬研坂など、再開発によって生まれた新たな緑。まちなみを伝える憩いの緑にあふれる赤坂を探索してみましょう。

